



学習発表会案内のお手紙配り

愛郷

5・6年国語科研究授業 ～複式授業で、ガイド学習・学び合い～

11月25日(火)6校時に、5・6年生の国語科の研究授業を行いました。5年生の教材名は、「森林のおくりもの」、6年生の教材名が、「未来に生かす自然のエネルギー」でした。指導者は、担任の渡慶次一史先生で、サポートとして学習支援員の大城壮平先生が入りました。

複式授業で進めるなか、教師が直接指導をしないときは、各々ガイド(児童)が中心になって学習を進めました。座席はそれぞれグループの形にし、考えを聴き合い、学び合う授業スタイルで行われました。授業後は、授業についての研究会を行いました。児童一人一人の学びはどうであったか等、いろいろと意見交換を行いました。今回の研究授業には、琉球大学の准教授の山口剛史先生、同じく准教授の吉田安規良先生、琉球大学の学生3名が参加しました。

山口剛史先生から、授業づくりを通して考えていることとして、①学び合いは教科の論理と連動させて考えたい②単元を通して子どもたちにどのような世界観をつくるか考えたい③子どもたちの自己肯定感を高めて学ぶ意欲を高めたい④誰もが研究授業をやりたくなるような校内研修をしたい。との助言がありました。



本の寄贈

～国立沖縄青少年交流の家から～

11月26日(水)、国立沖縄青少年交流の家から、図書14冊の寄贈がありました。平成23年度に「青少年の家文庫」が本校の図書室に設置され、毎年寄贈して頂いています。寄贈された図書は子どもたちがリクエストしたもので、子どもたちは大変喜んでます。下記に開設記念所長メッセージを紹介いたします。

「青少年の家文庫」開設記念所長メッセージ
渡嘉敷村の子どもたちへ

あなたたちが、夢と希望をもち、すこやかに育つためには、本を読むことがとても大切です。

本を読むことで、言葉を学ぶことができ、考える力がつき、思いやりのあるやさしい心が育ち、夢を思いえがける子どもになることができます。

本に親しみ、本を楽しみ、たくさんの本を読むことで、あなたたちの未来が明るく素敵になることを期待しています。

開設日 平成23年11月3日 国立沖縄青少年交流の家
所長 佐藤 良一

練習真っ盛り

～学習発表会(12/11)に向けて～

今、子どもたちは12月11日(木)の学習発表会に向けて練習に励んでいます。テーマ「天までとどけ 歌う声 天までとどけ 太鼓の音 心にひびかせ みんなの演技で」にあるように、合奏・合唱、太鼓、劇(孫悟空)に取り組んでいます。

学習発表会には、多くの皆様が参観に来て頂き、子どもたちを激励して下さいますようお願い致します。

保健集会～エイズについて～

12月1日(月)に保健集会を持ちました。

この日は「世界エイズデー」であり、エイズについての話を、鈴木和子先生、保健委員会の皆さんからありました。また、レッドリボンについての意味もわかりました。



第82回全国書画展覧会

- 金賞 3年外山心音さん
- 銀賞 3年小林満生さん
- 銅賞 4年仲宗根士導さん、関根涼太さん
玉城明日香さん

